

# がん相談支援センターだより

第26号

2017年5月

## 家族ができる患者へのケア

3月9日の患者交流会では、山川緩和ケア認定看護師より「家族ができる患者へのケア」の講演がありました。その中から、気持ちを引き出す会話の仕方について紹介します。患者が気落ちしている場合の会話例です。

患者：「もう駄目なんじゃないかなあ」

家族：「もう駄目って…どうして？」

患者：「食事もおいしくないし、だんだん痩せてきたし…」

家族：「そうねえ。この頃あまり食欲がないし…」

患者：「食べようって努力はしているんだけど」

家族：「……」

患者：「身体がだるくて、人と話をしているけど、テレビをみてもすぐにつかれてしまって。」

家族：「体力が落ちたなあ、って感じるのね。」

患者：「やっぱり病気は悪くなっているのかなあ」

家族：「そう。病気が良くなっていないと感じるのね」

このように本人の気持ちを受け止めて話を進めていくことが大切です。患者が気持ちのつらさを家族や友人にさえ打ち明けられない、不安や落ち込みが続いている、眠れない、食欲がないなどの様子が見られるときは心のケアの専門家に相談してみましよう。がん相談支援センターでもご相談いただくことができます。

## 患者サロンクローバー イベント予定



「患者交流会」7月13日(木) 13:30~15:00

講演：お薬の飲み方について

講師：薬剤師 中村 卓巨

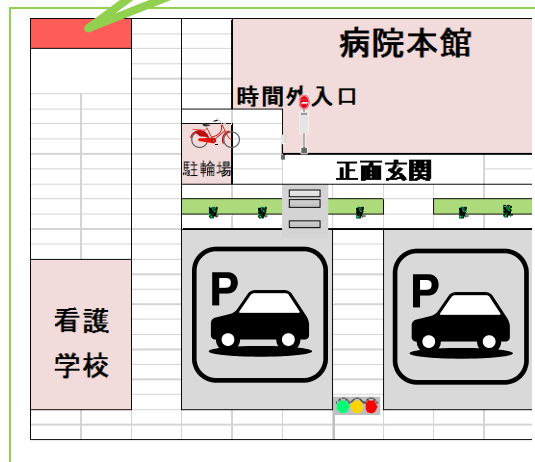
「アロマハンドトリートメント」5月22日(月) 10:30~12:00

6月26日(月) 10:30~12:00

「気功でリラックス」5月17日(水) 13:30~14:30

6月21日(水) 13:30~14:30

患者サロンクローバーはこちら



## がん相談支援センター

がんに関連しての悩み、不安、疑問等を相談できます。当院にかかっていない方も可能、費用は無料です。

相談日：月曜日から金曜日  
(祝日、年末年始除く)  
時間：9時から17時まで  
予約優先。電話も可  
場所：1階①入院受付  
カウンター左隣